



日本一早い 初日の出に 55,000人

山頂や離島を除き日本で一番早く昇る銚子の初日の出。今年も犬吠埼周辺はたくさんの人出がありました。君ヶ浜しおさい公園ではバルーンリリースやいす取りゲームが開催され、初日の出に訪れた人々を楽しませました。

渡海神社（高神西町）では、恒例の神楽が奉納され、参拝者はひよっとこの仕草に初笑いしたり、獅子舞の迫力に目を丸くしたり。福まきでも大いに盛り上がりました。



▲ひょうきんひよっとこの動きに思わず初笑い（渡海神社の神楽）



市民が紹介するジオパークの魅力

銚子の海岸植物 海岸を彩る季節の花たち

今月の案内人
保立得造さん



◀銚子の海岸に咲く
ハマアキノキリンソウ(10～11月) 銚子ボランティアガイド観光船頭会、
銚子ジオパーク認定ジオガイド

銚子半島は太平洋に囲まれ、多くの植物は海の影響を受けています。塩分を含んだ強風、強い直射日光、特に海岸では砂浜のまるで砂漠のような乾燥状態など、植物にとって有害な要素ばかりです。厳しい環境に適応できない植物はこの場所から排除されてしまいます。そんな中、強く生きている海岸植物を見ることが出来ます。

3月に入ると風はまだ冷たく感じますが、薄紫の四弁花をつけたハマダイコンが春の到来を告げてくれます。

春から初夏はハマエンドウ、ハマボス、海岸型のノアザミ、7月に入ると崖地がよく似合うスカシユリ、ハマカンゾウなど印象に残る花々が咲きます。

8月から9月は、千葉県の重要保護植物であるハマサワヒヨドリ、ハマシャジンそれに香りが印象に残るシソ科のハマゴウも花を咲かせます。秋が深まる10月下旬から11月はツワブキ、銚子が分布の北限とされるイソギクが崖地を飾ってくれます。私は自分なりの花カレンダーを眺めながら折に触れ犬吠の海岸に足を運んでいます。

植物の世界も人工的に手が入ったり、外来植物が侵入して環境が破壊されます。私たちの知恵で大切な植物をいつまでも残せるように努力したいと思います。

☎ 銚子ジオパーク推進協議会事務局
8911

